

# 流山の景気動向

流山商工会議所では、役員・議員・青年部員の事業所にご協力いただき、地域の景気動向を3か月ごとに調査しております。この度、みなさまからいただいた調査票をもとに、令和6年5月の結果がまとまりましたので、ご案内申し上げます。

次回調査は、令和6年8月となりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## <調査概要>

### ○調査対象月

令和6年5月

### ○調査期間

令和6年5月27日から6月13日

### ○調査対象

流山商工会議所会員事業所

### ○回答数

建設4、製造6、卸・小売9、サービス20

合計39事業所

### ○調査項目

全国 LOBO に準拠した項目および向こう3ヶ月の見通し

(DI 値を集計)

### ○付帯調査

「2023年度の採用について」

「正社員における2024年4月の賃上げの状況について」

## ❖流山の景気動向【概要】

全産業合計の業況DIは、5.1（前回比+3ポイント）。全国DIと比較すると+16.5ポイント。業種別でみると製造業は改善したが、それ以外の業種は前回調査より悪化の割合が高い。依然、物価高の影響は大きいものの先行きに関してはプラス傾向で、需要の改善がみられる業種もある。2023年の採用は募集した半数以上の企業で確保ができず、特に建設業の人手不足感が強い。また、賃上げも約4割が「防衛的な賃上げ」で先行きが懸念される。

### <流山おおたかの森S Cの概況>

5月度売上は昨対99.8%と前年実績を下回った。映画館が前年と比較するとヒット作が少なく、集客が伸び悩んだことが大きな要因。また、物価上昇影響による買い控えも見られる。

### <流山工業団地の概況>

工業団地内では、新卒者を採用しているのは4社で、採用できた人数も減少しているようである。それ以外の企業は中途採用が多く、募集をしても、なかなか人材が集まらず、人材確保に苦労している。非正規のパート・アルバイトについても、同様である。

## ❖流山の全産業天気図

天気図		業況		売上		採算		仕入単価		従業員		資金繰り	
		今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き
全産業	流山												
		5.1	7.7	12.8	20.5	0.0	2.6	▲ 64.1	▲ 56.4	23.1	25.6	▲ 2.6	0.0
	全国												
		▲ 11.4	▲ 13.4	1.6	▲ 4.6	▲ 12.9	▲ 13.3	▲ 68.5	▲ 55.6	21.3	22.5	▲ 10.1	▲ 11.7

凡例



特に好調  
(D I ≥ 30)



好調  
(30 > D I ≥ 15)



まあまあ  
(15 > D I ≥ 0)



やや低調  
(0 > D I ≥ ▲15)



低調  
(▲15 > D I ≥ ▲30)



極めて低調  
(D I < ▲30)

### ※D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

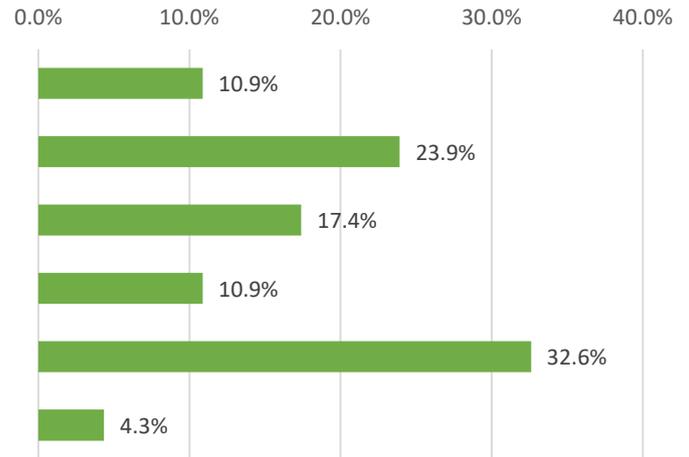
$$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

## ❖付帯調査

### 1. 2023年度の採用状況

#### 1-1. 2023年度の採用

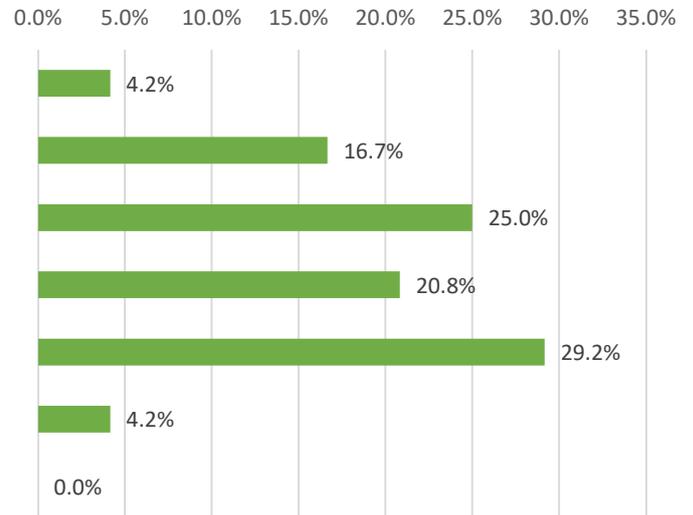
- 1 : 正社員を新卒採用した
- 2 : 正社員を中途採用した
- 3 : 非正規社員を採用した
- 4 : 募集したが正社員・非正規社員ともに全く採用できなかった
- 5 : そもそも募集しなかった
- 6 : 回答不能



※質問1-1で選択肢1~3と回答した方にお伺いします。

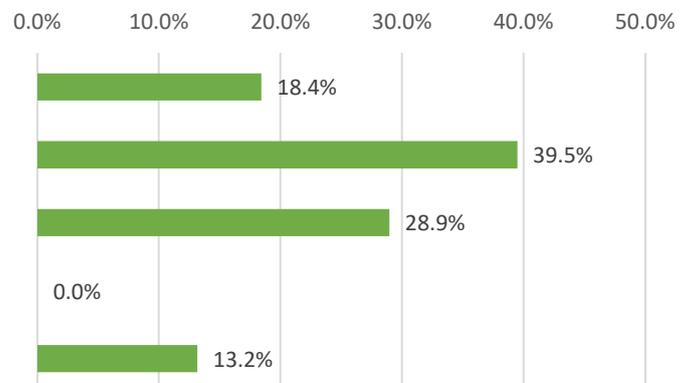
#### 1-2. 2023年度の採用における充足状況

- 1 : 新卒採用の正社員を予定した人数確保できた
- 2 : 中途採用の正社員を予定した人数確保できた
- 3 : 非正規社員を予定した人数確保できた
- 4 : 新卒採用の正社員を予定した人数確保できなかった
- 5 : 中途採用の正社員を予定した人数確保できなかった
- 6 : 非正規社員を予定した人数確保できなかった
- 7 : 回答不能



#### 2-1. 2024年4月の賃上げについて

- 1 : 業績が改善しているため、賃上げを実施した
- 2 : 業績の改善がみられないが、賃上げを実施した
- 3 : 賃金は同水準を維持した
- 4 : 賃金は引き下げた
- 5 : 回答不能



※質問 2-1 で選択肢 1~2 と回答した方  
2-2. 2024年4月の賃上げの内容

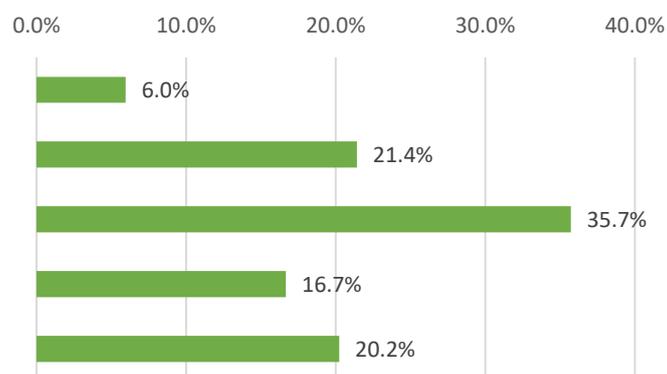
1 : 定期昇給を実施した

2 : ベースアップを実施した

3 : 手当の新設・増額

4 : 一時金（賞与）を増額した

5 : 回答不能



※質問 2-1 で選択肢 1~2 と回答した方  
2-3. 2024年4月の賃上げ率

1 : 5%以上

2 : 4%以上5%未満

3 : 3%以上4%未満

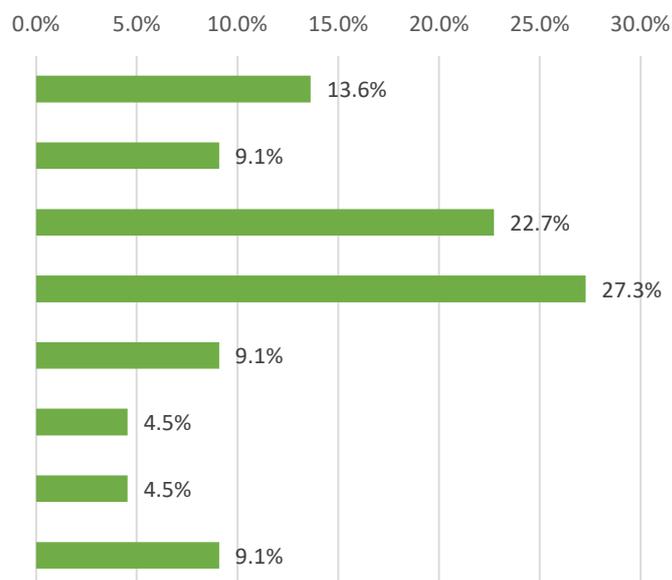
4 : 2%以上3%未満

5 : 1%以上2%未満

6 : 1%未満

7 : 現時点では未定

8 : 回答不能



【コメント欄より一部抜粋】

- ・ 運送業の労働時間の法規制により運送費が上昇、納期が遅れだしている。
- ・ 材料等の仕入れコストは落ち着いている。
- ・ 2024年問題となる運賃からの影響を懸念。
- ・ 新旧流通の世代交代が進んでいる。
- ・ これからの人手不足、賃金の上昇、仕入価格の上昇と厳しさがますますコストカット、少数精鋭で経営に当たらなくてはならない。
- ・ 従業員数を増やす、賃金を上げる等についてはコスト上昇の中では難しいように思える。
- ・ 人口減少を見越してか、DX化推進、AI活用、有給、福利厚生制度など人を使わなくても今と同等の仕事ができるような取り組みを進めているが採用人数の減少や従業員過剰の状態を産むのではないか。
- ・ 2024年物流問題で納品回数の減少が生じている。
- ・ 従業員の高齢化、すべてにおいてのコスト増など経営環境は厳しさが増すばかりである。
- ・ 公表されている平均賃上げ率プラス物価上昇率は、販売価格に確実に転嫁される仕組みを制度的に作られるのが好ましい。